

水に色がつく

赤い水が出る



原因

配・給水館内の鉄錆が起因し、赤水の継続時間や発生地域により原因が推定できる。

対策

一軒だけの場合は、開栓時の水をしばらく捨水するか、布設替え、あるいは老朽化した配管を取り替える。広範囲の場合は配水地域の管内洗浄および水質が安定するまで捨水する。 ※鉄分は必須栄養元素で毒性が弱く人体への影響は通常の摂取量では問題ありません。

黒い水が出る



原因

水道水中の溶存している微量のマンガニオンが残留塩素で酸化され、配水管内に付着した二酸化マンガンを水の流動変化等で剥離するために起こる。

対策

開栓直後の一時的現象の場合は、透明になるまで捨水する。長時間にわたる場合は、配水管本管に起因するため、本管の洗浄、捨水を行い同時に浄水処理工程での除マンガンを強化する。

白い水が出る

(数秒後に透明になる)



原因

水道水をコップに入れた時、下の方から徐々に透明になる場合は空気によるもの、給湯設備の場合は、水道水が急激に加熱され、溶存している空気が放出され、白濁することがある。

対策

空気による白濁は、放置により透明になり水質異常によるものではなく、安全性の上で問題はない。給水装置等で水道設備で負圧になる原因調査が必要。

白い水が出る(煮沸により、油膜発生、白濁する)



原因

亜鉛メッキ鋼管から溶出する亜鉛によるもの。煮沸により水表面に油膜状の物が形成され一層白濁してゆく。水の滞留時間が長いほど発生しやすく、開栓直後に多く見られる。亜鉛の溶出しやすい管内では腐食がかなり進んでおり、時間と共に赤水の発生も見られる。

対策

開栓時の水を捨水する。亜鉛の溶出が著しい場合は、材質の異なる管種に布設替えを行う。

水が青い

(ほかに緑色、桃色)



原因

給湯設備で、不凍液を使用している二回路式ボイラー内の配管にピンホールが発生し、エチレングリコール等の不凍液が温水中に混入し、水道水が青色等に着色する。

対策

トラブルとしては、非常に危険なランクである。直ちに給水を止め、ボイラー部分の点検をし、改善する。